

考古学特殊講義1B- II

科目ナンバリング ARC-202
選択必修 2単位

阿部 朝衛

1. 授業の概要(ねらい)

考古学の基本的な資料分析方法の「型式」について本年度講義する。多様な考古学資料には、土器・石器・金属器などの遺物、住居・墓などの遺構が含まれ、それらを時空間上に配列する上で型式はとても重要である。その役割と設定方法を理解することを講義の目的とする。前期では型式がどのように認識され形成されてきたかを講義し、後期では型式がどのように用いられているかを講義する。

2. 授業の到達目標

1. 具体的資料の分析事例をもとに、型式の利用方法を理解する。
2. 型式成立の理論的背景を理解する。
3. 現代社会における活用法も理解する。

3. 成績評価の方法および基準

最後の授業のテストによって評価する。出席するのは当然である。

4. 教科書・参考文献

教科書

特になし。

参考文献

授業時に適宜、紹介する。資料は、適宜、プリントして配付する。

5. 準備学修の内容

1年の考古学概説で学んだ人類進化、旧石器文化、新石器文化(縄文文化)の変化を復習する。博物館見学を行い、資料がどのように配列されているか観察する。

6. その他履修上の注意事項

文化遺物の説明では、重量物は運搬できないので、考古学実習室に移動する場合がある。

7. 授業内容

- 【第1回】 導入、前期授業との関連性
- 【第2回】 チャイルド型式学の意味するもの(1)
- 【第3回】 チャイルド型式学の意味するもの(2)
- 【第4回】 デュルケームの集合表象と型式(1)
- 【第5回】 デュルケームの集合表象と型式(2)
- 【第6回】 デュルケームの集合表象と型式(3)
オンライン授業
- 【第7回】 ホッダー型式研究の意味するもの(1)
- 【第8回】 ホッダー型式研究の意味するもの(2)
- 【第9回】 型式と集合表象・社会集団(1)
- 【第10回】 型式と集合表象・社会集団(2)
- 【第11回】 社会集団における学習・教育(原人)
- 【第12回】 社会集団における学習・教育(旧人)
- 【第13回】 社会集団における学習・教育(新人1)
- 【第14回】 社会集団における学習・教育(新人2)
- 【第15回】 総括、テスト